

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CHEKA		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 15日 ～ 2025年 4月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 3月 15日 ～ 2025年 3月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	調理活動を毎日行うという特色。調理活動を通じた療育では成果物としての料理を通じ、毎日適切な自己評価及び他社評価を行うことが出来るという強み。	グループワーク、個別ワークを意図的に行い、同じ調理活動でもアプローチの違う療育を行うことを心がけています。	児童がもっとわかりやすく、もっと自主的に調理に取り組むことが出来るように、調理工程のわかりやすさを追求できたらと考えています。
2	余暇活動が充実している事。	祝日は可能な限り開所を行い、児童、保護者ニーズに沿ったイベントを実施しています。アウトドアインストラクターを中心とした山や川、海でのフィールドワークを多く取り入れています。	保護者参加型のイベントを多く立案し、保護者同士のつながりを深めて行きたいと考えています。
3	保護者の生活に応じた臨機応変な受け入れ態勢。	長期休暇の際には保護者の仕事等に応じ臨機応変な受け入れ態勢を整えるよう心がけています。	受け入れ態勢を整えるだけでなく未来を見据えた児童の留守番することが出来るスキルの獲得や、他の福祉サービス活用等の提案に力を入れたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりが希薄である。	コロナ禍において、地域住民との接触、集会等がはばかれた時期を経たことで、地域住民とのつながりや、地域の行事参加がはばかれていたことからそれが習慣化しているのだと思います。	今あっている地域のイベントに参加するのではなく、地域住民を巻き込んだイベントの立案を事業所主体で行っていくことが求められていると考えます。
2	成人期事業所とのつながりが少ない。	福祉事業所の横のつながりが薄いこと。また連携を行った経験が少ない。	見学、職場体験のイベントなどの計画を行います。また、法人内で成人期事業の立ち上げを検討しているため、スタッフの勉強会実施や、施設への見学スタッフ交流を行います。
3	療育活動の種類の少なさ。	調理活動に特化しているため、その他の療育活動の種類が少なく感じます。	児童、保護者ニーズの聞き取りを積極的に行い、調理活動を中心としつつそれ以外で取り組める活動を模索します。